

第5章 働いていない女性の就業問題

(1)主にやっていることと末子年齢 (問 11)(問 4-a)

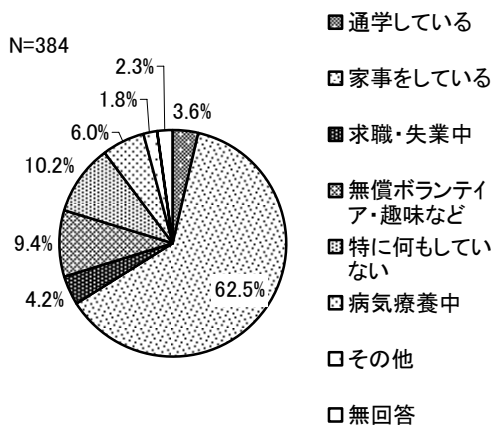
□「家事をしている」が6割

「家事をしている」(76.4%→62.5%) が最も多いが、95 年より 13.9 ポイント減少している。次いで「特に何もしていない」が 10.2%、「無償ボランティア」が 9.4%である。「通学している」(0.8%→3.6%) が 4 倍に増加している。

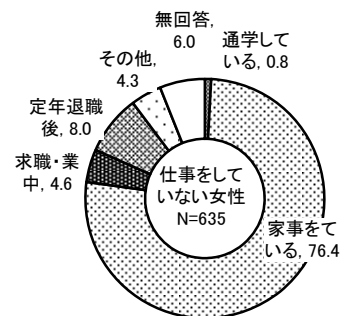
□20 代後半から 40 代前半は子育て世代

末子年齢「0～3 歳以上の未就学児」の合計が、20 代後半の女性で 86.9%、30 代前半では 90.9%となっている。40 代前半になると、小・中・高校生の子育て年代となる。実質的に子どもの手が離れる年代は 50 代後半になっている。60 代では約 9 割が「子どもが社会人」になる。95 年では 50 代で約 8 割が「子どもが社会人」であった。結婚・子育て年齢が約 5 年高くなっており、晩婚化の影響と考えられる。(15、16 頁参照)

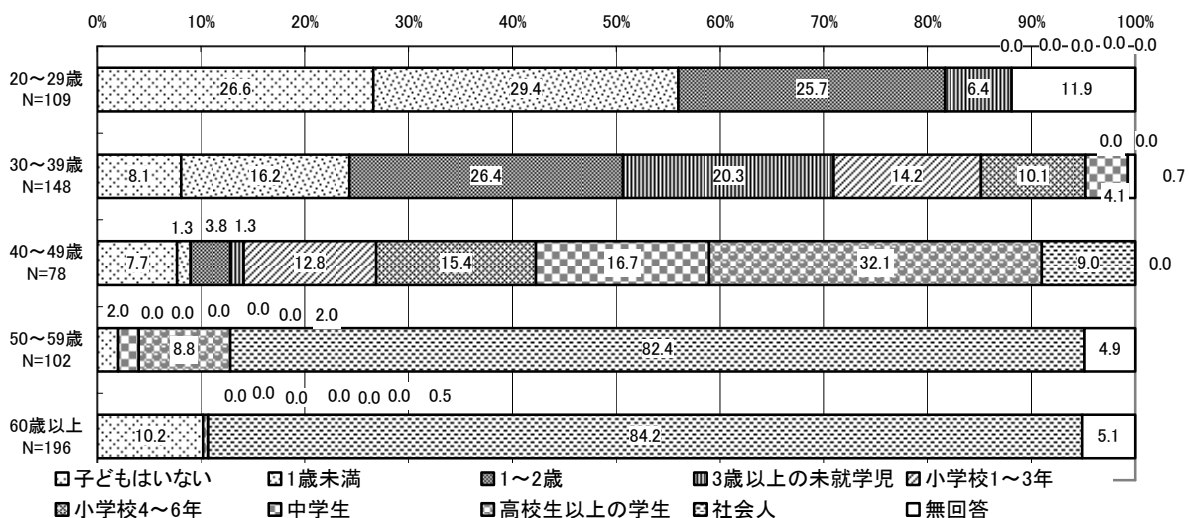
主にやっていること



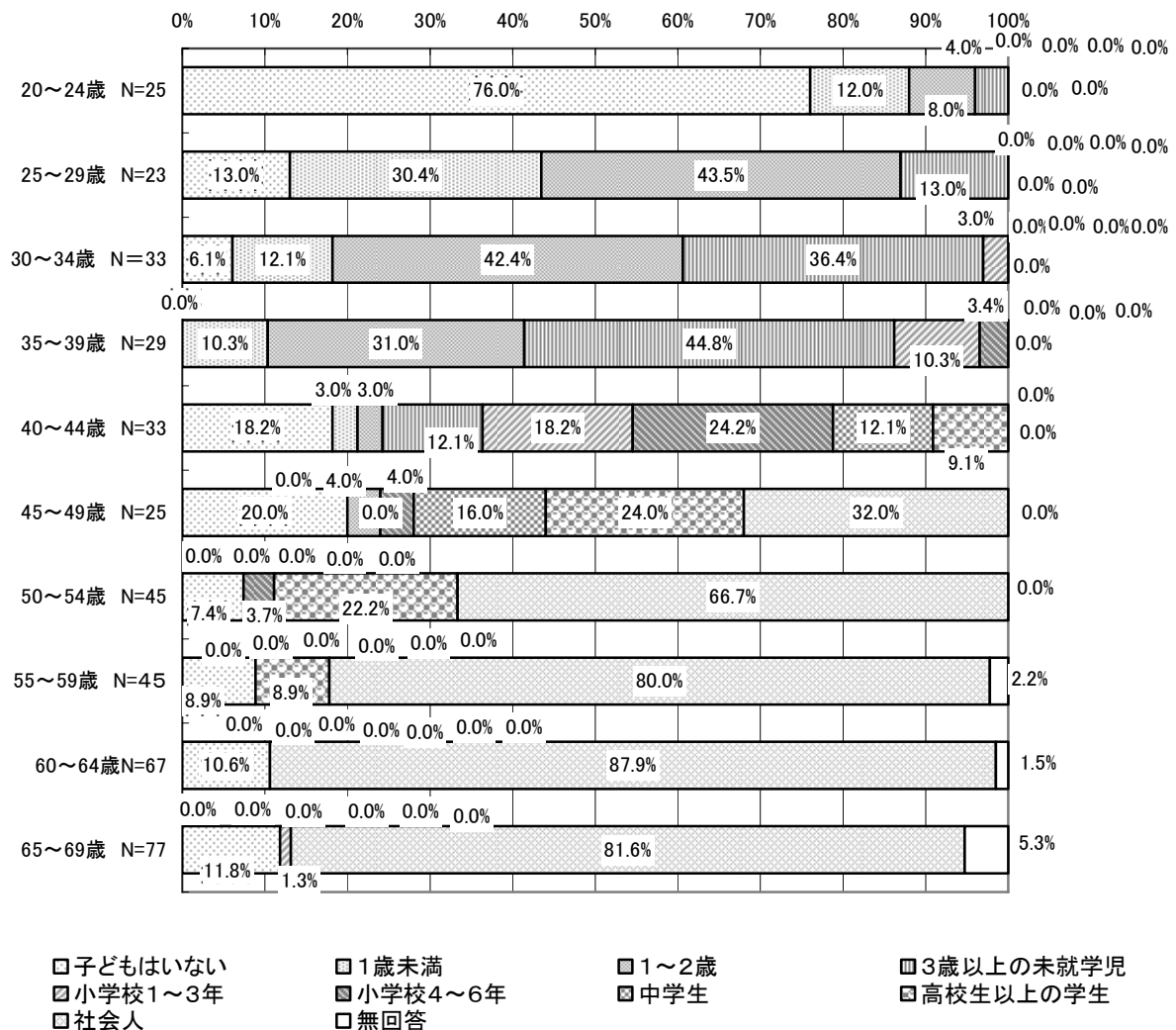
95 年主にやっていること



95 年仕事をしていない女性の「末子年齢」



仕事をしていない女性の末子年齢



(2) 仕事についての経験 (問 12)

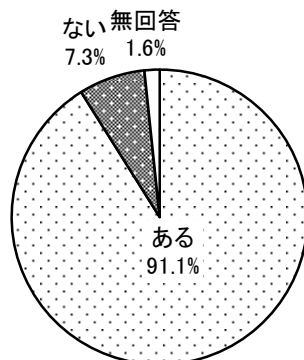
9割が「仕事についての経験あり」

仕事についての経験をみると、「ある」が 91.1%、「ない」が 7.3%である。

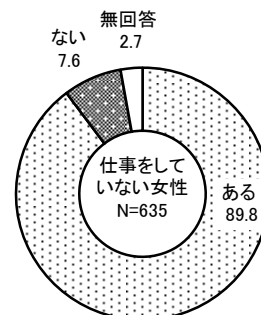
年齢層別にみると、20 代前半で 44.0%であるが、20 代後半から 60 代までは 90%以上が就業経験を持つ。

就業経験

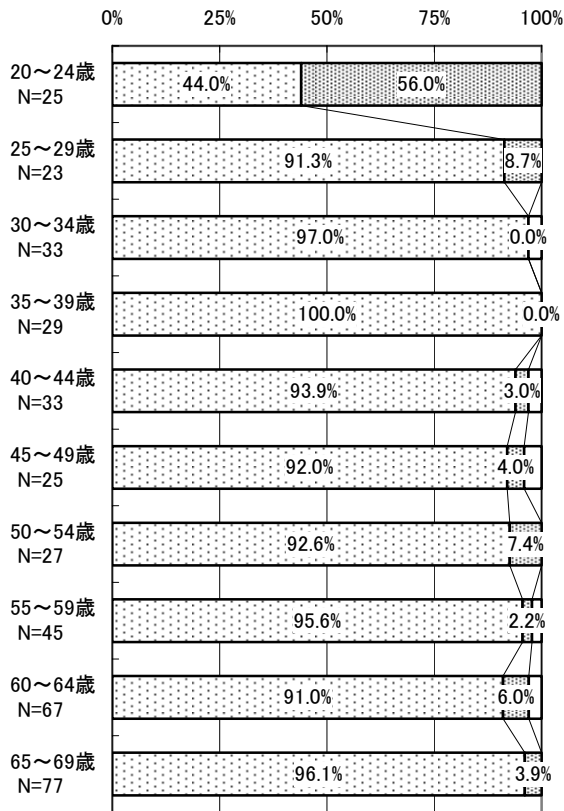
N=384



95 年就業経験

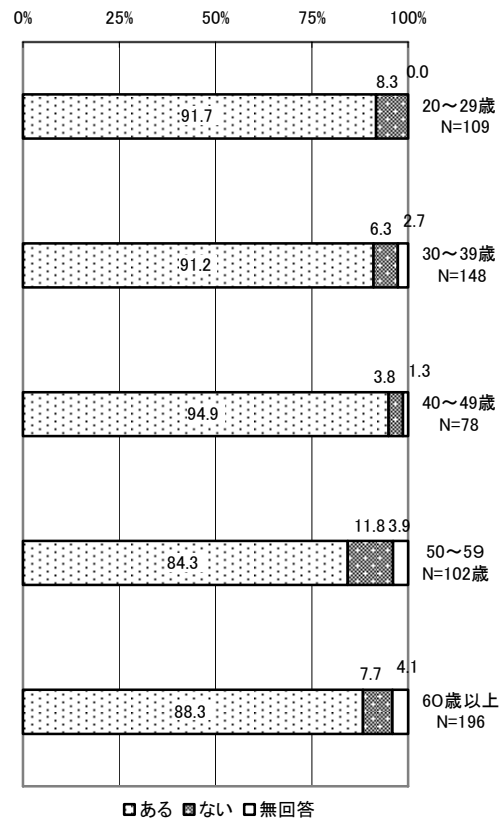


年齢層別就業経験



□ある ■ない ▨無回答

95年 年齢層別「就業経験」



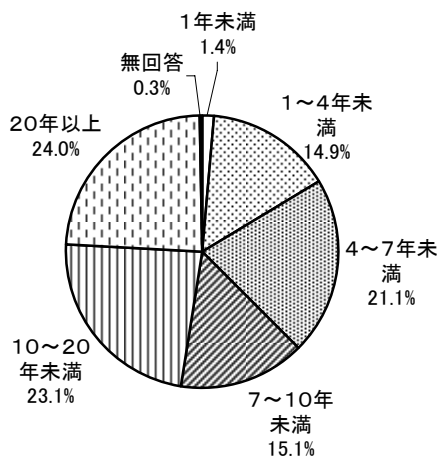
□ある ■ない ▨無回答

□ 仕事をした通算年数は「20 年以上」が最多

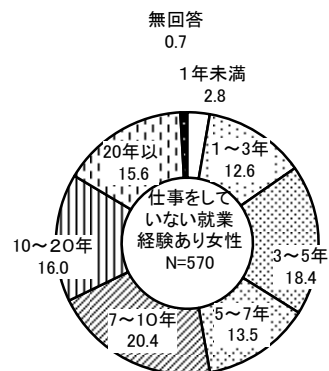
通算就業年数をみると、「20 年以上」(15.6%→24.0%)、「10 年~20 年」(16.0%→23.1%) である。95 年では最多が「7~10 年」の 20.4%であり通算就業年数が長くなっている。

通算就業年数

N=350



95年 通算就業年数

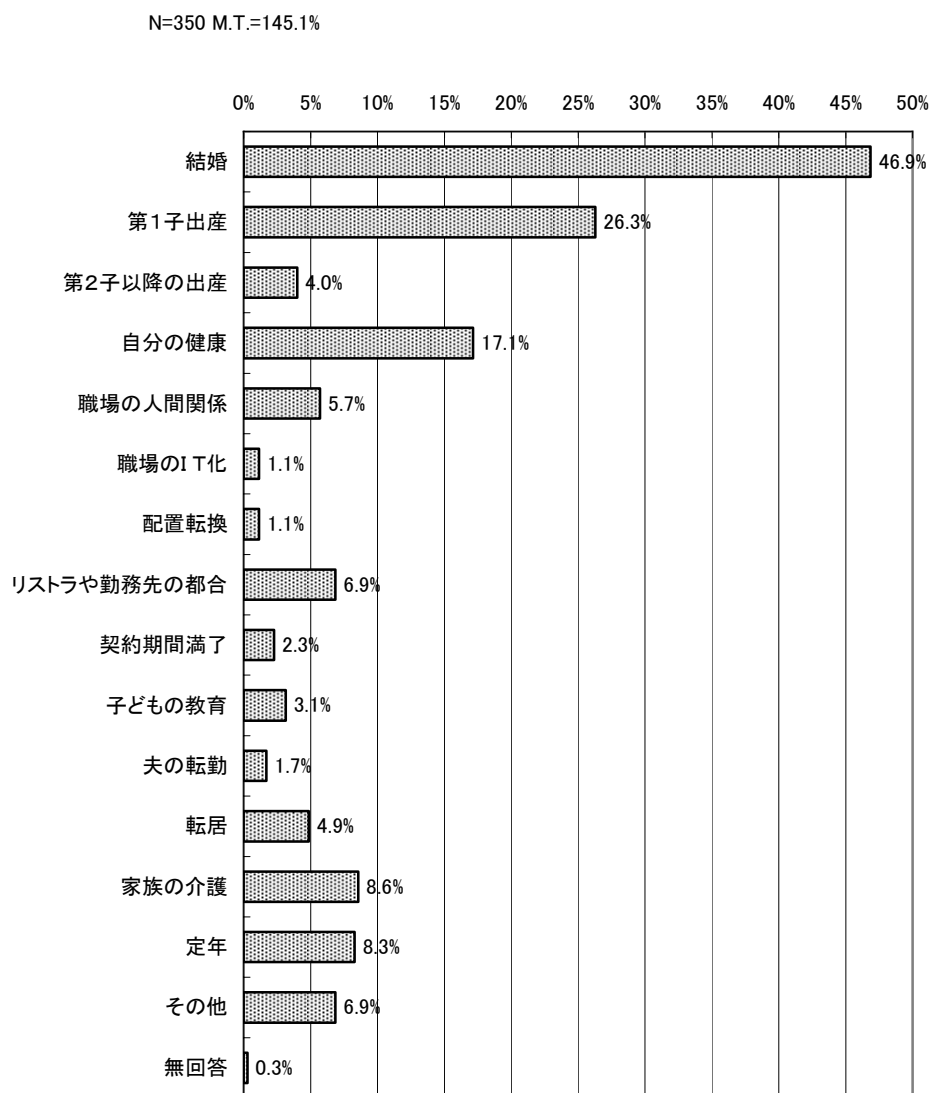


(3)仕事をやめた理由（問 12-b）

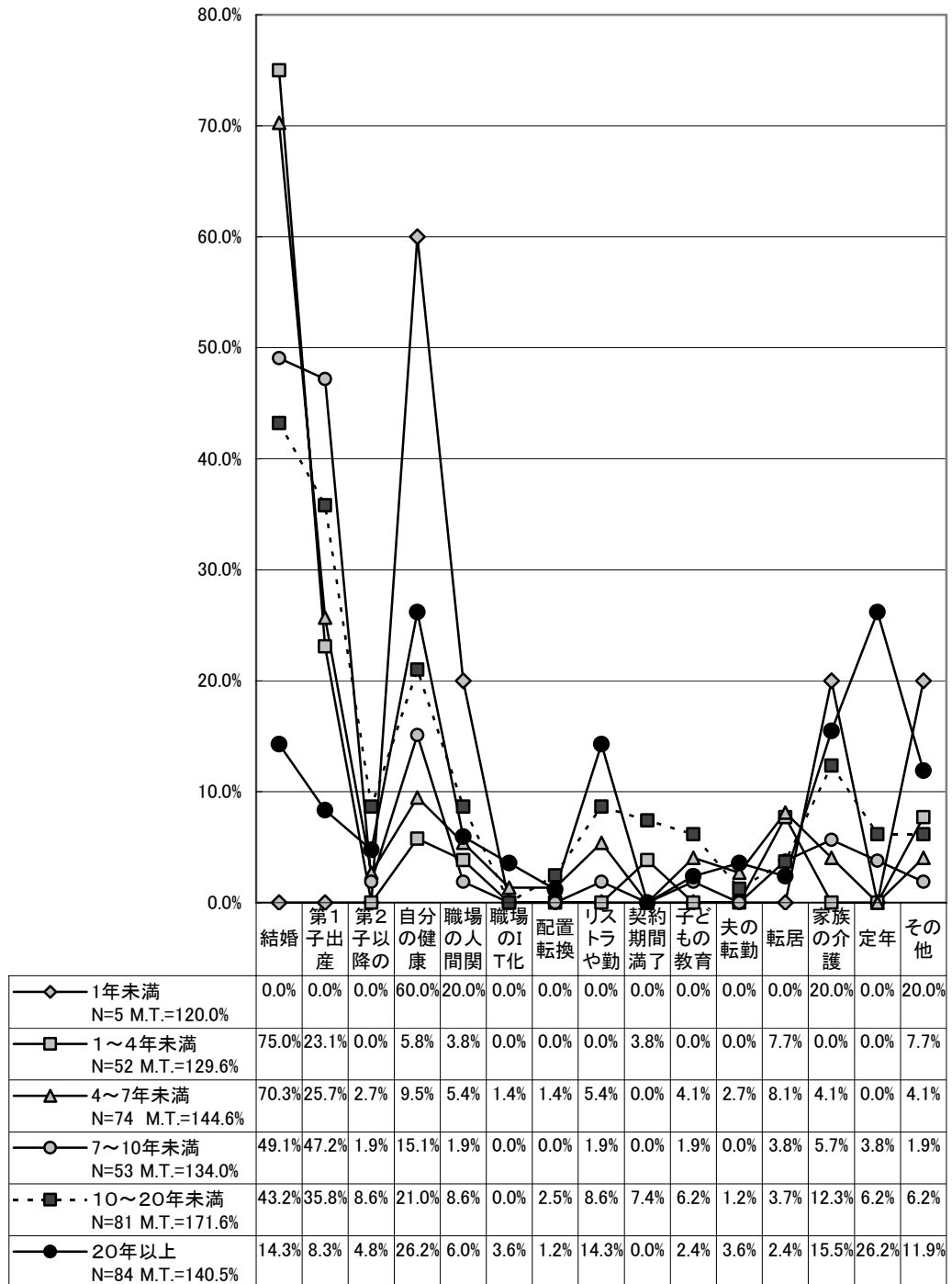
□「結婚」46.9%、「第1子出産」26.3%

「仕事をやめた理由」は、「結婚」（46.9%）が最も多く、次いで「第1子出産」（26.3%）、「自分の健康」（17.1%）と続く。就業年数別で「仕事をやめた理由」をみると、「1年未満」は「自分の健康」（60.0%）が最も多く、「4～7年未満」では「結婚」（70.3%）、次に「第1子出産」（25.7%）と続く。「20年以上」になると、「自分の健康」「定年」が同じ26.2%で最も多い。

仕事をやめた理由



通算就業年数とやめた理由



(4) 就業希望 (問 13)(問 9)

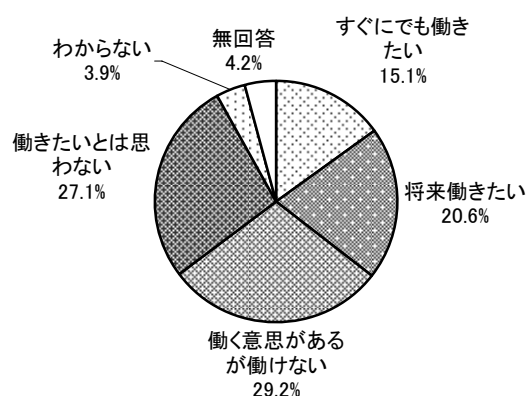
□就業希望は3割以上

仕事を「していない」女性の就業希望を見ると、「意思があるが働けない」(29.2%)が最も多く、「働きたいとは思わない」(27.1%)、「将来」(20.6%)、「すぐにでも」(15.1%)の順である。

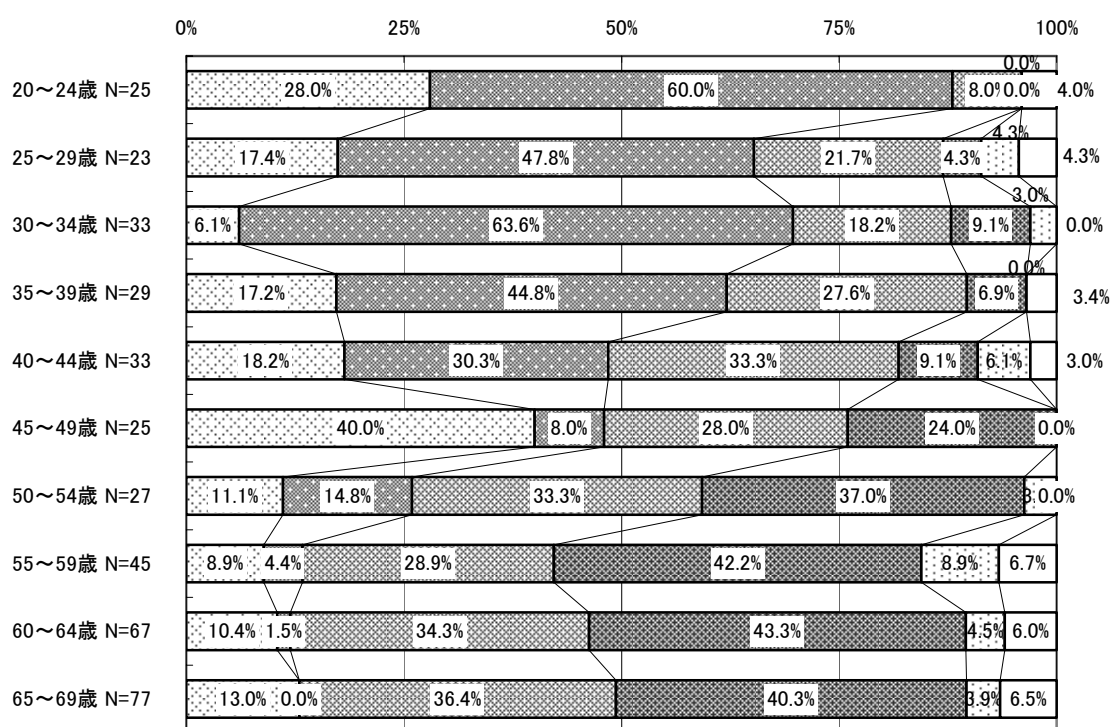
年齢層別にみると20代前半は「すぐにでも」(28.0%)、「将来」(60.0%)を合わせると88.0%になり、就労意欲がどの年代よりも高い。30代前半は「すぐにでも」「将来」を合わせると69.7%である。40代後半は「すぐにでも」が40.0%と全ての年齢層の中で最も再就職希望の緊急度が高いことがわかる。50代後半以降では、「働く意思があるが働けない」が約3割を占め、4割以上が就労を希望している。

就業希望

N=384



年齢層別就業希望



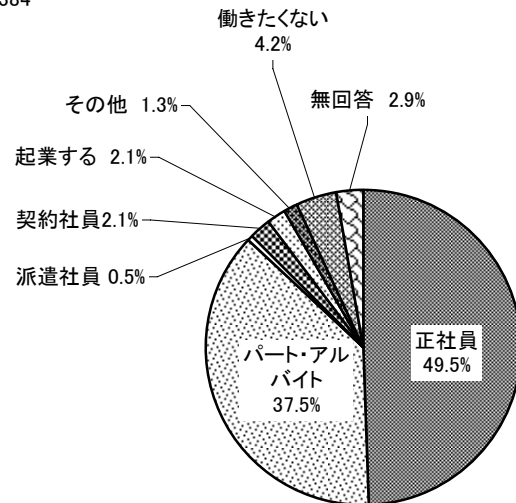
□すぐにでも働きたい ■将来働きたい ▨働く意思があるが働けない ■働きたいとは思わない □わからない □無回答

□働くときは「正社員」希望が半数

働くときは「正社員」希望が半数と最も多く、次いで「パート」が37.5%、「起業する」が2.1%、「契約」が2.1%、「派遣」0.5%である。

望ましいとする働き方

N=384



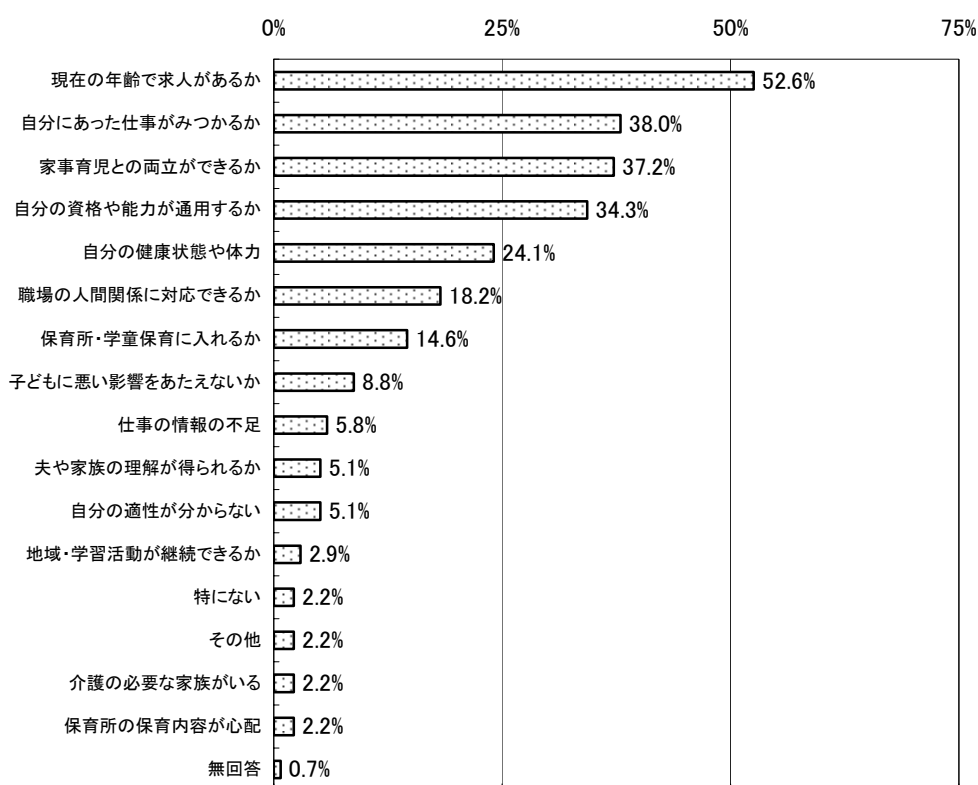
(5)再就職に気がかりなこと（問 13-a）

□「現在の年齢で求人があるか」が過半数

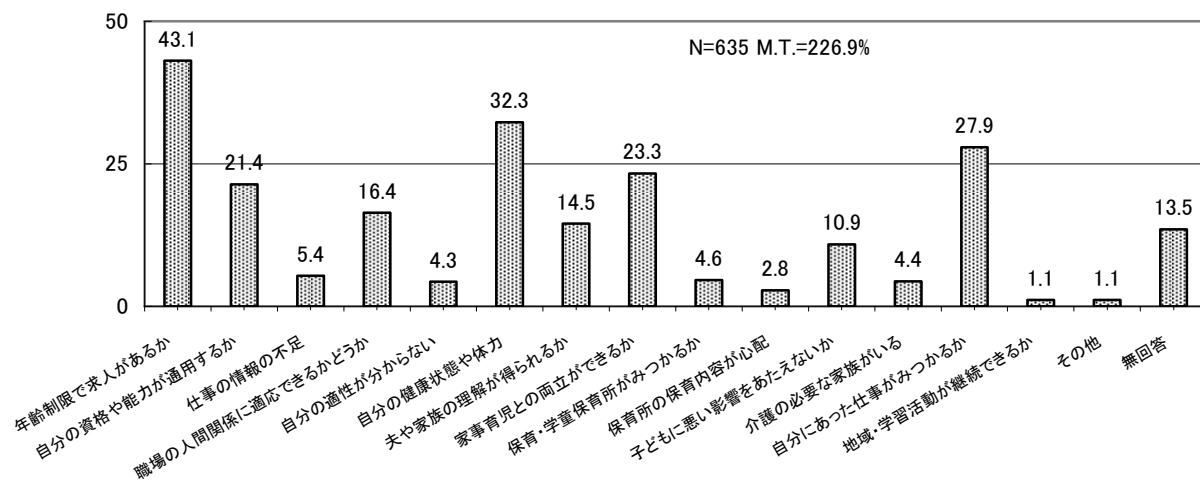
再就職にあたっての気がかりなことは、「現在の年齢で求人があるか」（43.1%→52.6%）が最も多く、「自分にあった仕事が見つかるか」（27.9%→38.0%）と続き、いずれも 95 年に比べ約 10 ポイント増加している。一方「自分の健康状態や体力」は（32.3%→24.1%）と減少している。

年齢層別では、20 代後半から 30 代後半は「家事との両立」が 65%以上、40 代前半から 60 代後半まで「現在の年齢で求人があるか」が 80%~100%と非常に高率である。あわせて 40 代後半から 60 代前半まで「自分にあった仕事が見つかるか」も 50%~60%の高さである。

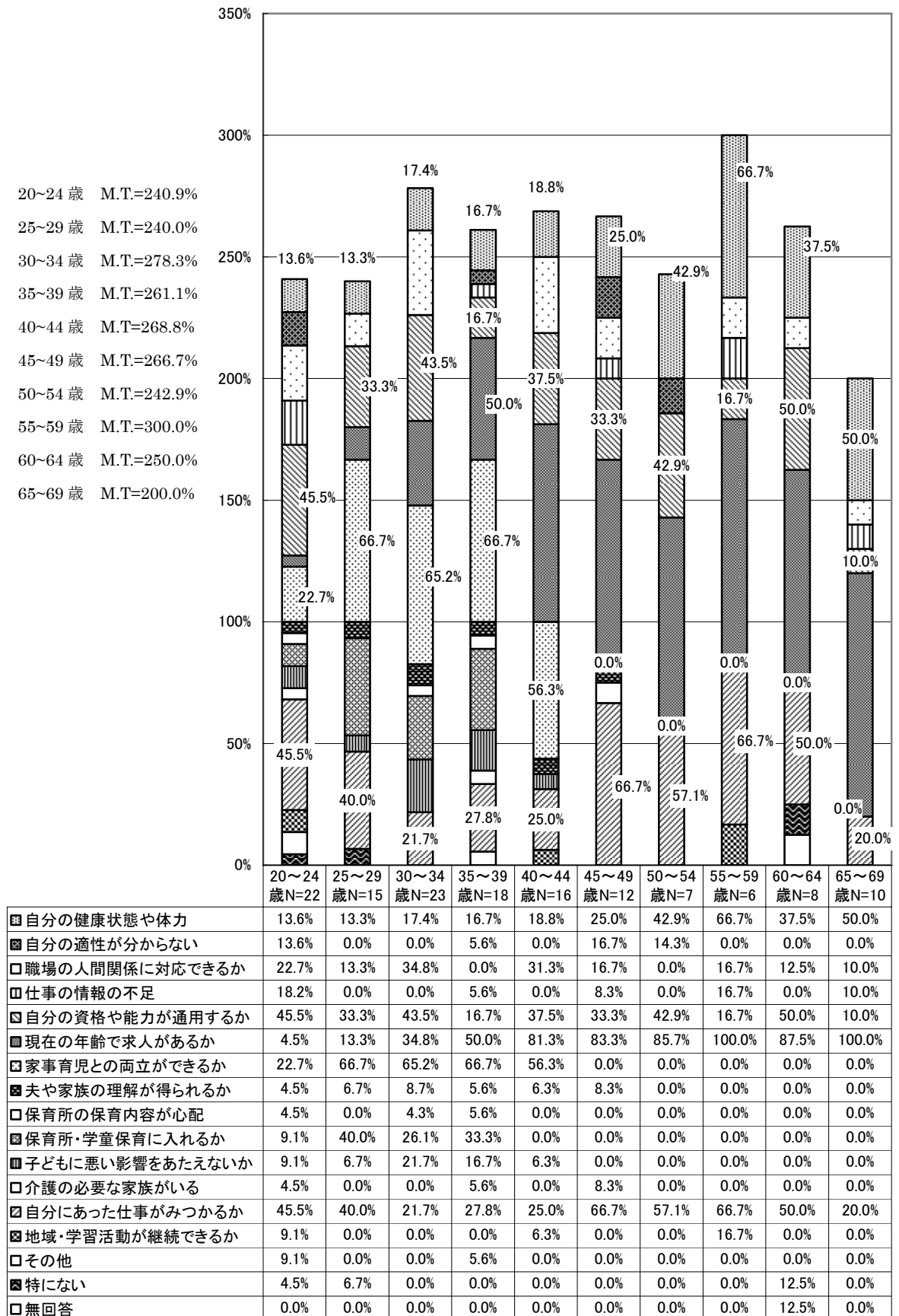
再就職にあたって気がかりなこと（N=137 M.T.=256.2%）



95 年再就職に気がかりなこと(複数回答)



年齢層別再就職に気がかりなこと



(6)「働く意思があるが働けない」「働きたいとは思わない」理由 (問 13)(問 13-b)

□働けない、働かないも理由は「健康・体力に自信がない」が過半数

「働く意思があるが働けない」理由として「自分の健康・体力に自信がない」(51.8%)が最も多く、次いで「雇ってくれるところがない」(49.1%)、「子育て中だから」(23.2%)、「高齢者や病人の介護・看護をしている」(22.3%)と続く。

「働きたいとは思わない」理由も「自分の健康・体力に自信がない」が 53.8%で最も多く過半数を占め、「働く必要がない」(35.6%)、「雇ってくれるところがない」(23.1%)、「妻は家庭を守るべきだと思うから」(22.1%)と続く。

働けない、働きたくない理由

